

平成30年度
第3回 学校関係者評価委員会

兼 信頼される学校づくりのための委員会



平成31年 2月14日(木)

15:30~16:30

鹿児島県立枕崎高等学校

平成30年度 第3回
学校関係者評価委員会
兼信頼される学校づくりのための委員会

目 次

P1・・・[第3回委員会 開催要項](#)

P2・・・[平成30年度 第2回学校関係者評価委員会](#) 兼 信頼される学校づくりのための
委員会、報告

P4・・・平成30年度 学校評価最終アンケート，集計結果

生徒用・・・[P4](#)

保護者用・・・[P5](#)

評価委員用・・・[P6](#)

職員用・・・[P7](#)

P8・・・[共通評価項目](#)について

P9・・・[平成30年度 各部・各学年の最終評価と反省](#)

教務部・生徒指導部・・・P9

進路指導部・保健部・・・P10

1学年・2学年・・・P11

3学年・・・P12

P12・・・[授業評価の反省](#)

国語科・地歴公民科・・・P12

数学科・理科・体育科・芸術科・・・P13

英語科・情報科・商業科・・・P14

P15・・・[枕崎高等学校 学校関係者評価委員会設置要項](#)

P16・・・[学校評価の年間計画（案）](#)

第3回委員会 開催要項

- 1 日時 平成31年 2月14日(木) 15:30~16:30
- 2 会場 総合学館 2階C24教室
- 3 会順
- | | |
|-----------------------------|-------------|
| (1) 受付 | 15:20~ |
| (2) 開会 | 15:30~ |
| (3) 校長あいさつ | 15:30~15:35 |
| (4) 第2回学校関係者評価委員会報告 | 15:35~15:40 |
| (5) 平成30年度学校評価最終アンケート, 集計結果 | 15:40~15:50 |
| ・評議委員, 平成30年12月21日迄に回答 | |
| ・生徒・職員, 平成31年度1月21日迄に回答 | |
| ・保護者, 平成31年2月1日迄に回答 | |
| (6) 各部・各学年の最終評価と反省について | 15:50~16:00 |
| (7) 授業評価について | |
| (8) 信頼できる学校づくりに向けて(意見交換) | 16:00~16:25 |
| (9) 閉会 | 16:30 |

4 出席者

(1) 学校関係者評価委員

野田 真由美 委員	地域代表
立石 健太郎 委員	地域代表
石塚 宏志 委員	中学校代表
町頭 與志郎 委員	同窓会代表
福元 幸介 委員	P T A代表

(2) 教職員

校長	橋口 和寛
教頭	松野下 修司
事務長	有馬 博文
教務主任	池田 年孝(理科)
生徒指導主任	梶場 孝之(英語)
進路指導主任	前原 功治(国語)
保健主任	山下 裕人(保健体育)
1学年主任	梶場 孝之(英語)
2学年主任	石川 正史(芸術書道)
3学年主任	春園 静香(理科)
教務部学校評価係	黒原久美子(英語), 竹之内賢光(英語)

* 来年度第1回委員会は、2019年6月13日(木)に開催予定です。

平成30年度 第2回学校関係者評価委員会 兼 信頼される学校づくりのための委員会（報告）

日時	平成30年11月14日（水） 15:30～16:30
会場	総合学館2階 C24教室
参加者	評価委員・校長・教頭・事務長・4部主任・学年主任・学校評価係
会順	
15:30～	開会のことば・学校長あいさつ
15:32～	第1回学校関係者評価委員会報告
15:35～	中間アンケート集計結果報告（生徒用・職員用）
15:50～	最終評価と反省（教務 生徒指導 進路指導 保健部 1年 2年 3年の各主任から口頭による説明。）
15:55～	質疑応答・意見交換
16:35～	学校評価係よりH30年度最終評価アンケート実施について説明
16:40～	閉会のことば

質疑・意見交換の主な内容（まとめ）

各学年・職員の間アンケート結果について

Q1：職員・生徒の両方とも，2年生についてのアンケート結果が非常に悪い。2年生の学校での基本的な生活習慣が身につけていないのではないかと。

指導しなければならない生徒は，クラスごとに日々指導を行っている。

Q2：街中で枕高の悪い評判を聞くことがある。これまでは「総合学科のイメージが浸透していないから」と思っていたが，このような（Q1のような）問題が原因なのでは？

1年生では見られない。3年生については，1～2年生の頃までは生活習慣が身につけていない生徒が複数見られたが，就職試験や面接指導などを通して，徐々に改善されてきた。

Q3：総合学科のイメージが悪いのかもしれない。「大学へ行きたい。」「資格を取りたい。」という将来の目標がある中学生やその保護者は，近隣の他の高校を選択する。そうでない生徒が総合学科を選択しているのでは？

Q4：総合学科の良さをもっとアピールする努力が必要では？

現在，担当者が中学校を訪問し，総合学科の特色を説明しているが，説明の方法を工夫したい。

Q5：特別支援が必要な生徒は何人いるのか。またその生徒の支援体制はどうなっているのか。

特別支援が必要と思われる生徒は複数在籍している。ただ、しっかりと診断結果が出ているわけではない。学校独自の支援体制は特にとっていないが、南薩養護学校から定期的に巡回指導を受けている。

Q6：先生たちが優しすぎるのではないか。昔は先生たちが本気で叱ったり、叩いたりしたものが、今になって思うといい思い出となったし、有り難かった。

規範意識をしっかりと身に付ける指導を行っていきたい。

Q7：3年生の自由意見に、「職員が生徒の気持ちを上げるのが下手くそだと思う...。」とある。書き方は生意気だが、生徒たちは先生方が接してくるのを待っているのではないだろうか。

来年度の中学生の入学者数について

Q8：総合学科というのがわかりにくい。普通科と総合学科の違いが曖昧なのは？

中高連絡会や中学校訪問で説明は行っている。総合学科では大学の推薦入試で専門学校枠を利用して受験をすることができる。様々な進路に対応できるところが総合学科の良さである。

平成30年度 学校評価アンケート用紙（生徒用）

鹿児島県立枕崎高等学校

アンケート

このアンケートは、本校の教育活動を充実発展させるために生徒のみなさんの意見をお伺い、参考にするためのものです。次の項目について、あてはまると思う評価基準に 印をつけて下さい。

番号	質問内容				
		そう思う	おおむねそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
共通項目	1 本校は、生徒一人ひとりの個性・能力・進路に応じた指導を実現している。	19	53	23	5
	2 本校は他人を思いやることができるような人間性豊かな生徒を育成している。	18	41	32	9
	3 本校の総合学科は、進路についてじっくりと考える機会があり、進学にも就職にも柔軟に対応できる学科である。	27	45	22	6
	4 本校は、部活動指導に積極的で、生徒が活動しやすい環境になっている。	20	34	34	13
	5 子どもは、授業や学習に一生懸命取り組んでいる。	27	54	15	4
	6 私は、生徒会活動や部活動に一生懸命取り組んでいる。	28	43	22	8
	7 本校の教職員は、生徒の進路実現のために一生懸命取り組んでいる。	24	55	17	4
	8 本校の教職員は、生徒の服装や遅刻等について厳しく指導している。	37	41	16	6
	9 本校の時間割は、生徒の多様な進路実現に対応できている。	21	56	16	8
	10 本校は、進路情報の提供や進路相談に熱心である。	23	54	19	3
	11 本校では、対外模試は学力向上や進路指導等によく活用されている。	22	48	24	6
	12 本校の学校行事は、よく工夫されて充実している。	14	39	34	13
	13 本校では、健康観察や施設設備の安全点検を行い、生徒の安全な生活に努めていることを知っている。	20	54	20	5
	14 本校では、掃除倉庫や清掃用具が整備され、掃除に取りかかりやすくなった。	19	60	17	4
	15 私は、服装や挨拶などの基本的な生活習慣ができています。	27	56	13	4
	16 私は、登下校時に交通安全を意識し、行動しています。	41	46	10	3
	17 私は、自宅で2時間以上学習しています。	11	26	35	28
	18 私は、インフルエンザやストレスなど心身の健康について、知識を深め対処法を実践するようになった。	22	43	27	8
	19 私は、地域の行事に積極的に参加しています。	20	39	27	14
	20 私は、本校からの連絡や配布物を確実に家庭に届けている。	33	46	14	7

生徒総数 174名 回答数 166名 (回答率95.4%)

上記表の数字は、%で表示しています。

共通評価項目とは・・・保護者、生徒、職員、評価委員対象のアンケート全てに共通する項目です。

自由意見

- 【1年】・部活動に入っている生徒が少ない。
- 【2年】・家庭科の調理室と調理道具が汚い。
 ・朝補習に不満があったが、3学期のマナトレが一般常識になっていて、生徒の声を聞いてくれるんだ、と思った。
 ・クラスマッチは学級対抗の行い方を考えて欲しい。(進学と専門では力量が違い過ぎる。)
- 【3年】・選択科目の見直しを。
 ・自分は最近、自分自身が嫌いになっていて、もう学校に通うのが少しずつ苦手になってきており、「いなくなりたい。」「消えたい。」という気持ちが強いです。

平成30年度 学校評価アンケート用紙（保護者用）

鹿児島県立枕崎高等学校

アンケート

このアンケートは、本校の教育活動を充実発展させるために保護者の方々のご意見をお伺いし、参考にするためのものです。次の項目について、あてはまると思う評価基準に 印をつけて下さい。

番号	質問内容				
		そう思う	おおむねそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
共通項目	1 本校は、生徒一人ひとりの個性・能力・進路に応じた指導を実現している。	15	63	13	2
	2 本校は他人を思いやることができるような人間性豊かな生徒を育成している。	14	53	25	1
	3 本校の総合学科は、進路についてじっくりと考える機会があり、進学にも就職にも柔軟に対応できる学科である。	14	69	16	1
	4 本校は、部活動指導に積極的で、生徒が活動しやすい環境になっている。	15	52	31	2
	5 本校の生徒は、授業や学習に一生懸命取り組んでいる。	13	60	24	3
	6 子どもは、生徒会活動や部活動に一生懸命取り組んでいる。	22	52	23	4
	7 本校の教職員は、生徒の進路実現のために一生懸命取り組んでいる。	18	63	18	0
	8 本校の教職員は、生徒の服装や遅刻等について厳しく指導している。	26	57	13	4
	9 本校の時間割は、生徒の多様な進路実現に対応できている。	10	73	17	0
	10 本校は、進路情報の提供や進路相談に熱心である。	15	65	19	1
	11 本校では、対外模試は学力向上や進路指導等によく活用されている。	14	61	25	0
	12 本校は、開かれた学校づくりに努力している。	16	59	24	1
	13 本校は、急病への対応や危険な場所の把握・管理が行き届いている。	13	74	13	0
	14 本校は、きれいで清潔な生活環境になっている。	19	73	8	0
	15 子供は、服装や挨拶などの基本的な生活習慣ができています。	23	57	18	2
	16 子供は、登下校時に交通安全を意識し、行動している。	24	68	6	2
	17 子供は、自宅で2時間以上学習している。	12	31	39	18
	18 子供は、インフルエンザやストレスなど心身の健康について、知識を深め対処法を実践するようになった。	16	58	23	3
	19 子供は、地域の行事に積極的に参加している。	13	52	28	8
	20 子供は、本校からの連絡や配布物を確実に家庭に届けている。	37	35	24	4

保護者世帯数 173名 回答数 93名 （回答率53.8%）

上記表の数字は、%で表示しています。

共通評価項目とは・・・保護者、生徒、職員、評価委員対象のアンケート全てに共通する項目です。

自由意見

- ・登校時立神方面、野球部員が道に広がり歩行。とても迷惑だと言われました。
- ・(本アンケートの)文字が小さい!!見えない、改善しろ。
- ・アルバイトについて 社会が必要とする人間力形成に必要なことであり、経済について学ぶ実践の場であると思う。他校との差別化の意味も含めて、教育の場として学校側も有効に活用するべきだと思う。

平成30年度 学校評価アンケート用紙（評価委員用）

鹿児島県立枕崎高等学校

アンケート

このアンケートは、本校の教育活動を充実発展させるために皆様のご意見をお伺い、参考にするためのものです。次の項目について、あてはまると思う評価基準に 印をつけて下さい。なお、実情がわかりにくく評価できない項目については、記入しなくても構いません。

番号	質問内容	そう思う	評価基準		
			おおむねそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
共通項目	1 本校は、生徒一人ひとりの個性・能力・進路に応じた指導を実現している。	0	100	0	0
	2 本校は他人を思いやることができるような人間性豊かな生徒を育成している。	0	60	40	0
	3 本校の総合学科は、進路についてじっくりと考える機会があり、進学にも就職にも柔軟に対応できる学科である。	20	40	0	40
	4 本校は、部活動指導に積極的で、生徒が活動しやすい環境になっている。	20	0	40	40
	5 本校の生徒は、授業や学習に一生懸命取り組んでいる。	0	80	20	0
	6 本校の生徒は、生徒会活動や部活動に一生懸命取り組んでいる。	20	20	60	0
	7 本校の教職員は、生徒の進路実現のために一生懸命取り組んでいる。	20	80	0	0
	8 本校の教職員は、生徒の服装や遅刻等について厳しく指導している。	0	60	40	0
	9 本校の時間割は、生徒の多様な進路実現に対応できている。	20	80	0	0
	10 本校は、進路情報の提供や進路相談に熱心である。	20	40	40	0
	11 本校では、対外模試は学力向上や進路指導等によく活用されている。	/			
	12 本校は、開かれた学校づくりに努力している。	20	40	40	0
	13 本校は、急病への対応や危険な場所の把握・管理が行き届いている。	/			
	14 本校は、きれいで清潔な生活環境になっている。	20	80	0	0
	15 本校の生徒は、服装や挨拶などの基本的な生活習慣ができている。	20	80	0	0
	16 本校の生徒は、登下校時に交通安全を意識し、行動している。	20	80	0	0
	17 本校の生徒は、自宅で2時間以上学習している。	/			
	18 本校の生徒は、インフルエンザやストレスなど心身の健康について、知識を深め対処法を実践するようになった。	/			
	19 本校の生徒は、地域の行事に積極的に参加している。	40	0	40	20
	20 本校の生徒は、本校からの連絡や配布物を確実に家庭に届けている。	/			

評議員総数 5名 回答数 5名 (回答率100%)

上記表の数字は、%で表示しています。

共通評価項目とは・・・保護者、生徒、職員、評価委員対象のアンケート全てに共通する項目です。

自由意見

- 生徒が多方面において、意欲を出すきっかけ作りをつくって欲しい。

平成30年度 最終評価アンケート用紙（職員用）

鹿児島県立枕崎高等学校

4:とてもそう思う 3:まあまあそう思う 2:あまりそう思わない 1:ぜんぜんそう思わない

各学年 共通評価項目	1	本校は、生徒一人ひとりの個性・能力・進路に応じた指導を実現している。	5	64	27	5	
	2	進路についてじっくりと考える機会があり、進学にも就職にも柔軟に対応できる学科である。	9	68	18	5	
	3	他人を思いやることができるような人間性豊かな生徒を育成している。	0	41	50	9	
	4	本校は、部活動指導に積極的で、生徒が活動しやすい環境になっている。	0	23	64	14	
	5	生徒は、授業や学習に一生懸命取り組んでいる。	0	23	77	0	
	6	生徒は、生徒会活動や部活動に一生懸命取り組んでいる。	9	36	55	0	
	7	教職員は、生徒の進路実現のために一生懸命取り組んでいる。	9	77	9	5	
単 年 指 導	教務部	8	新学習指導要領を考慮して、総合学科の特徴を活かしながら生徒の多様な進路実現にも十分対応できる、魅力ある教育課程の編成、研究・改善を進めていく。	5	41	41	14
		9	中学校との連携を深めるとともに、保護者および地域住民への広報活動に取り組み、さらに開かれた学校づくりに努める。	5	41	41	14
		10	「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間（創意・卒業研究）」の充実を図り、生徒の思考力、判断力、表現力等を定着・育成し、社会人としての基本的な素養を身に付けさせる。	5	59	27	9
	生徒指導	11	教職員の共通理解と共通実践による服装容儀を中心とした生徒指導が展開できている。	9	32	50	9
		12	教育相談を中心とする、生徒の心のケアの充実が図られている。	18	50	27	5
		13	交通マナーの向上、事故・違反の減少に努めている。	5	59	32	5
	進路部	14	自宅学習の促進が図られている。	0	18	73	9
		15	多様な学力層に対応した補習を充実させている。	0	45	45	9
		16	就職指導の強化に努めている。	5	68	23	5
	保健部	17	体力低下を防ぐために授業での補助・補強運動を工夫し、毎時間実施している。	0	76	19	5
18		不適応生徒へのケース会議を充実させ、授業復帰へ向けた対策を構築している。	0	59	32	9	
19		安全点検を定期的実施し、避難訓練を充実させている。	9	59	27	5	
20		清掃場所への予鈴での移動徹底と清掃区域の見直しを行っている。	5	29	62	5	
上記評価項目は全員全項目記入ですが、以下の評価項目は所属する該当学年のみ回答して下さい。							
1 学 年	21	基本的な生活習慣を身に付けさせ、けじめある高校生活を送らせている。	33	58	8	0	
	22	学力の向上に努めている。	17	67	17	0	
	23	進路目標を設定させている。	17	58	25	0	
2 学 年	24	基本的な生活習慣を身に付けさせ、けじめある高校生活を送らせている。	0	54	38	8	
	25	授業を大切にさせ、学力の向上に努めさせている。	0	69	31	0	
	26	中堅学年としての自覚を持たせ、学校行事に積極的に取り組ませている。	8	77	15	0	
3 学 年	27	基本的な生活習慣を身に付けさせ、けじめのある高校生活を送らせている。	0	47	53	0	
	28	授業を大切にさせ、生徒各自の進路目標の達成に努めている。	0	67	27	7	
	29	最高学年としての自覚を持ち、校の中心となって学校行事に取り組ませている。	21	57	21	0	

有効職員総数 24名 回答数 20名（回答率83%）

上記表の数字は、%で表示しています。

自由意見

・生徒指導の内規見直しを。(カバン廃止、遅刻届けなど)・上記項目 18は保健部でしょうか？生徒指導部でしょうか？
 ・教員の‘させたい’思いと生徒の‘ありたい’思いの違いで、お互い大変な時があるように思う。・総合学科の理念・理想は完全に形骸化しているにもかかわらず、それを認識しているのか否か理解できないが、その形骸化している実態をなんとか継続させようと努力しているのが、さらに理解できない。これまで中学・高校30年間の教員生活で8校目となるが、これ程やる気が出ない学校は初めてだ。担任や副担任の配置、公務のバランス、系の連携など、どれをとっても考えられないことばかりで、一生懸命頑張りたいが頑張りがたくない、というのが本音である。

共通評価項目について

各アンケートの項目1～7の共通項目は、「平成30年度・学校経営の概要」の教育方針や経営方針、本年度の努力点を具体的に評価するために設置したものである。なお、各項目のカッコ内の数字は、平成29年度の割合を示している。また、各評価項目は下記の通りである。

本校は、生徒一人ひとりの個性・能力・進路に応じた指導を実現している。
 進路についてじっくりと考える機会があり、進学にも就職にも柔軟に対応できる学科である。
 他人を思いやることができるような人間性豊かな生徒を育成している。
 本校は、部活動指導に積極的で、生徒が活動しやすい環境になっている。
 生徒は、授業や学習に一生懸命取り組んでいる。
 生徒は生徒会活動や部活動に一生懸命取り組んでいる。
 教職員は、生徒の進路実現のために一生懸命取り組んでいる。

4:とてもそう思う 3:まあまあそう思う 2:あまりそう思わない 1:ぜんぜんそう思わない

評価項目	対象者	生徒				保護者				評価委員				本校職員			
	評価	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
評	H30	19	53	23	5	15	62	14	2	0	100	0	0	5	64	27	5
	H29	16	61	17	6	13	73	13	2	0	100	0	0	13	57	26	4
	増減	- 5		+ 5		- 9		+ 1		=		=		- 1		+ 2	
価	H30	18	41	32	9	14	53	26	1	0	60	40	0	9	68	18	5
	H29	13	56	23	9	9	68	22	1	0	100	0	0	8	46	42	4
	増減	- 10		+ 9		- 10		+ 4		- 40		+ 40		+ 23		- 23	
項	H30	27	45	22	6	14	68	17	1	20	40	0	40	0	41	50	9
	H29	29	51	15	5	17	63	18	2	50	50	0	0	29	63	8	0
	増減	- 8		+ 8		+ 2		- 2		- 40		+ 40		- 51		+ 51	
目	H30	20	34	34	13	15	51	32	2	20	0	40	40	0	23	64	14
	H29	19	48	24	10	17	55	25	3	0	75	25	0	4	42	46	8
	増減	- 13		+ 13		- 6		- 6		- 55		+ 55		- 23		+ 24	
目	H30	27	54	15	4	13	60	24	3	0	80	20	0	0	23	77	0
	H29	23	60	14	3	14	64	19	4	0	75	25	0	0	25	71	4
	増減	- 2		+ 2		- 5		+ 4		+ 5		- 5		- 2		+ 2	
目	H30	28	43	22	8	21	51	22	5	20	20	60	0	9	36	55	0
	H29	33	44	14	10	22	54	19	5	0	100	0	0	8	63	29	0
	増減	- 6		+ 6		- 4		+ 3		- 60		+ 60		- 26		+ 26	
目	H30	24	55	17	4	18	63	19	0	20	80	0	0	9	77	9	5
	H29	21	56	20	3	21	66	12	1	25	75	0	0	25	67	8	0
	増減	+ 2		- 2		- 6		+ 6		=		=		- 6		+ 6	

上記数字は、パーセントを表しています。

増減とは、本年度と昨年度を比較してのポイントを表しています。

上記表の回答率は四捨五入して計算しております。従って回答率は100～101%の範囲となります。

ただし、平成30年度の保護者アンケートの には無解答がありましたので、この項目での回答率は100%には達していません。

平成30年度 各部・各学年の最終評価と反省

教務部

重点目標	<p>新学習指導要領を考慮して、総合学科の特徴を生かしながら生徒の多様な進路実現にも十分に対応できる、魅力ある教育課程の編成，研究・改善を進めていく。</p> <p>中学校との連携を深めるとともに，保護者および地域住民への広報活動に取り組み，さらに開かれた学校作りに努める。</p> <p>「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間（創意・卒業研究）」の充実を図り，生徒の思考力，判断力，表現力等を定着・育成し，社会人としての基本的な素養を身につけさせる。</p>				
最終評価	評価項目	4	3	2	1
	新学習指導要領を考慮して，総合学科の特徴を活かしながら生徒の多様な進路実現にも十分対応できる，魅力ある教育課程の編成，研究，改善を進めていく。	5	41	41	14
	中学校との連携を深めるとともに，保護者および地域住民への広報活動に取り組み，さらに開かれた学校づくりに努める。	5	41	41	14
最終反省	<p>「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間（創意・卒業研究）」の充実をはかり，生徒の思考力，判断力，表現力等を定着・育成し，社会人としての基本的な素養を身に付けさせる。</p>				
最終反省	<p>科目選択において制約が多い中，在校生の帯群表や平成31年度以降の教育課程について，本校の特徴が活かせるように改善に努めてきた。</p> <p>文化祭，体育祭等ではPTAや同窓会の協力をもらいながら行事を盛り上げることができた。</p> <p>係によるブログ更新や広報紙の作成等、広報活動も積極的におこなわれてきた。</p> <p>各学年とも計画に沿って指導がおこなわれ，1年間のまとめともなる学習発表会も，当日は主として生徒だけで運営され，十分な成果が得られるなか終えることができた。</p>				

上記数字は、パーセントを表しています。

生徒指導部

重点目標	<p>社会生活をおくるための基本的な素地を育成し，生徒が主体的に学業や部活動に励み，落ち着いた校風を確立する。</p> <p>教育相談体制を充実させる。</p> <p>交通マナーの向上，事故・違反の減少を目指す。</p>				
最終評価	評価項目	4	3	2	1
	教職員の共通理解と共通実践による服装容儀を中心にした生徒指導が展開できている。	9	32	50	9
	教育相談を中心とする，生徒の心のケアの充実が図られている。	18	50	27	5
最終反省	<p>交通マナーの向上，事故・違反の減少に努めている。</p>				
最終反省	<p>素直に指導に従う生徒が大半で落ち着いた校風は確立までは至っていない。職員最終アンケート番号11で，あまりそう思わない2がH28・H29の13%から50%と大幅に増えた背景に，日常の服装指導に学年によって差があり，それが授業態度や日常生活にも反映された結果と思われる。各学年，改善はしている。</p> <p>年2回教育相談，SCとの面談や連携等うまく活用できた。QU検査の分析に基づく職員研修や枕崎市生活指導研究協議会での情報共有も行った。規律を意識して主体的に学校生活を送らせ，対話力を高めていく「生徒支援」が本校の課題である。</p> <p>単車免許取得者全員を対象に単車実技講習会を半日かけて行い，交通マナーの向上を目指した。安全運転の喚起や枕崎署による交通安全教室を行うことで，昨年よりも事故・違反は減少した。他の川辺地区高等学校と比較してもかなり低かった。</p>				

上記数字は、パーセントを表しています。

進路指導部

重点目標	自宅学習の促進 多様な学力層に対応した補習の充実 就職指導の強化				
最終評価	評価項目	4	3	2	1
	自宅学習の促進が図られている。	0	18	73	9
	多様な学力層に対応した補習を充実させている。	0	45	45	9
	就職指導の強化に努めている。	5	68	23	5
最終反省	自宅学習については、生徒の自己評価、職員の評価においても「そう思わない」の回答が約9割。学力を必要としない入試や就職試験の増加も原因のひとつ。今後も、もちろん全職員であたっていくべき課題であるが、難しい問題である。 今年度は実態に応じて、様々な形を模索してみた。考えられる方法や適切な教材を全員で考えて提案をしてほしい。 社会的なニーズもあり、就職状況は昨年に続き堅調であった。現在の2年生に対しても校内外での早期の取り組みが行われている。今後の課題として離職を防ぐ取り組みが必要である。				

上記数字は、パーセントを表しています。

保 健 部

重点目標	適切な保健室利用の定着と、心身の健康を保持増進させる。 不応生徒への対応と対策の充実。 安全点検の定期的な実施と避難訓練の充実。 清掃場所への予鈴での移動徹底。				
最終評価	評価項目	4	3	2	1
	体力低下を防ぐために、授業での補助・補強運動を工夫し、毎時間実施している。	0	76	19	5
	不応生徒へのケース会議を充実させ、授業復帰へ向けた対策を構築している。	0	59	32	9
	安全点検を定期的な実施し、避難訓練を充実させている。	9	59	27	5
	清掃場所への予鈴での移動徹底と清掃区域の見直しを行っている。	5	29	62	5
最終反省	安易な保健室利用が目立った。心身の健康相談が多いので、いたしかたない部分があるが、利用率減少のための対策を講じなければならないと感じる。 担任、養護教諭、関係機関との連携をとり、組織として対応することができた。 地震・津波の防災訓練は、枕崎市消防署と連絡を取りながら、計画どおり実施できた。訓練を受ける態度についても、1学期よりも良好であった。 清掃を時間いっぱい取り組む生徒と、そうでない生徒が極端に分かれている。美化委員と協力し、清掃への意識を高めるとともに、学校全体として校内美化に取り組む必要がある。				

上記数字は、パーセントを表しています。

1 学 年

重点目標	基本的な生活習慣を身につけ、けじめのある高校生活をする。 学習環境を整え、学力の向上に努める。 進路についての関心を高め、進路目標を持つ。				
最終評価	評価項目	4	3	2	1
	基本的な生活習慣を身に付けさせ、けじめある高校生活を送らせている。	33	58	8	0
	学力の向上に努めている。	17	67	17	0
	進路目標を設定させている。	17	58	25	0
最終反省	挨拶・学年集会・清掃・授業などを意識して、楽しそうに学校生活を送れている。日常においても欠席や遅刻も少なく、身だしなみも概ねよく落ち着いている。生徒からの相談も心情をくみ取りながら、担任・副担・養護教諭と協力して支援を行えている。 授業態度や提出物の状況は概ね良好で、高校生の自覚が感じられる生徒が多い。基礎学力が向上した生徒も増えた。一方で携帯電話の使用時間は多いのが現状である。 総合学習発表会において、産社等で学んだ上級学校見学・事業所見学を中心にプレゼンや展示を行い、様々な進路選択や職業観について関心を高めることができた。秘書検定や小論文模試も受験し、今後より主体的に進路目標を持たせていきたい。				

上記数字は、パーセントを表しています。

2 学 年

重点目標	基本的な生活習慣を身に付け、けじめある高校生活をする。 授業や提出物を大切に、学力の向上に努める。 中堅学年としての自覚を持ち、学校行事等に積極的に取り組む。				
最終評価	評価項目	4	3	2	1
	基本的な生活習慣を身に付けさせ、けじめある高校生活を送らせている。	0	54	38	8
	授業を大切にさせ、学力の向上に努めさせている。	0	69	31	0
	中堅学年としての自覚を持たせ、学校行事に積極的に取り組ませている。	8	77	15	0
最終反省	遅刻・欠席者、服装頭髪を含めた規範意識に乏しい生徒が固定化している。改善傾向の見られる生徒もいるが、指導には依然として苦慮している。最高学年としての自覚をもたせるよう粘り強く指導していきたい。 目標が定まらず学習意欲が低く授業中居眠りや私語をする生徒もいるが、改善している様子も窺える。継続的に学習させることに困難を感じることも多いが、落ち着いた雰囲気をつ粘り強く指導していきたい。 文化祭・体育祭等学校行事への取組は積極的である。3年次は中心となって学校を盛り上げることができるようサポートしていきたい。				

上記数字は、パーセントを表しています。

3 学 年

重点目標	基本的な生活習慣を定着させ、けじめのある高校生活を送る。 授業を大切に、生徒各自の進路目標を達成する。 最高学年としての自覚を持ち、学校の中心となって学校行事に取り組む。				
最終評価	評 価 項 目	4	3	2	1
	基本的な生活習慣を身に付けさせ、けじめある高校生活を送らせている。	0	47	53	0
	授業を大切にさせ、学力の向上に努めさせている。	0	67	27	7
	最高学年としての自覚を持ち、学校の中心となって学校行事に取り組ませている。	21	57	21	0
最終反省	進学・就職試験に向けて服装や生活態度に3年生としての自覚がみられた生徒も多かった。しかし、進路決定後の気の緩みが生活態度に表れた者も顕著であった。社会に出るにあたり、基本的な生活習慣の大切さを今後も根気強く指導していきたい。 全職員の協力で個別指導・面接指導等が実施でき、進路実現につなげることができた。進路未決定者についても引き続きサポートを行っていきたい。 文化祭、体育祭、クラスマッチなどの行事も中心となって盛り上げていた。				

上記数字は、パーセントを表しています。

授業評価について

教 科	国 語
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題提出については概ね期限内の提出ができているが、予習についてはほとんどなされていない。 ・ 授業への取り組み状況は概ね良好であるが、一部に、積極的に取り組む姿勢が見られない生徒もいる。 ・ クラスによっては、教材忘れが多いところもある。
今後の取り組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時の授業における学習目標や内容を明確に示し、目的を持って授業に臨む態度を養う。

教 科	地 歴 公 民
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の予習・復習をしている生徒が少ない。 ・ 生徒は板書されたことや大事なことをしっかり書き留めている。 ・ 授業内容や進度について説明が不十分だと感じている生徒がいる。
今後の取り組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元毎に小テストを行うなどして復習の機会を設けるようにする。 ・ 学期の始めなどに授業計画や進度について説明を行う。

教 科	数 学
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に関しては、復習をしていると答えた生徒が7割であった。 ・授業に関する評価は概ね良好。授業の進み方がちょうど良い、課題の量がちょうどよいと感じている生徒が約7割であった。
今後の取組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で課題を活用するなど、課題の出し方の工夫をしていくことで、復習の定着と家庭学習の習慣化を引き続き、図っていく。 ・授業の進み方がはやいと感じる生徒が少なくなるように、今まで以上に授業改善に努める。

教 科	理 科
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習への取組みは、個人差が大きい。 ・けじめのつけられない生徒もいるが、ノートの記入や実験・実習への参加など授業への取組みが良好な生徒も多い。
今後の取組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・資料等、補助プリントの充実と内容を工夫する。 ・本時の目標を具体的に示し、その時間にするべきことを明確にする。 ・授業態度や提出物等、成績以外の評価基準を明確にして、生徒の取組みへの意識を高める。

教 科	体 育
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自己評価は、全ての項目で95%以上が評価A、Bであった。 ・実生活での運動習慣を身に付けてもらいたいが、日常生活への活用の自己評価がやや低かった。 ・授業評価は、全ての項目で95%以上が評価A、Bであり、満足度が高かった。
今後の取組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に授業内容の確認をしっかりとできるよう、次時の内容について明確に示す。 ・授業内容を、どのように日常生活に役立てるかを具体化し例示する。

教 科	芸 術
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・選択科目であるので、全体的には良い評価が多かった。特に少人数で授業を行う2・3年生の科目の評価が高かった。文化祭では演奏や作品展示に参加し、日頃の学習の成果を発表した。今後も芸術を愛好できるような取組を計画したい。
今後の取組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目（音・美・書）で興味・関心をさらに喚起させ、人間形成の一翼が担えるよう授業の工夫・改善をしていく。また、日常で生かせるような活動を考える。

教 科	英 語
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> 概ね、生徒は板書事項をノートに書き留めたり、提出物を期限内に提出できていると自己評価している。しかし、課題以外の家庭学習については半数以上が取り組めていないと回答しており、学習において受け身の姿勢がうかわれる。 今年度は全学年が GTEC を受験した。Reading, Listening, Writing, タブレットを使った Speaking Test も実施した。希望者は実用英検も受験した。スコアで達成度が客観視でき、日頃の授業での活動の励みとなっている。
今後の取組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 授業中のノートまとめや訂正、インタビューテストの評価は今後も褒めて伸ばしていきたい。今後表現活動をさらに増やしていきたい。提出物については特定の生徒が怠りがちであるため、学年との連携をとって辛抱強く指導していきたい。 家庭学習については、定期考査や休日課題の計画表を出しているのので、生徒が意識して取り組めるように促す。外部検定試験等を外部指標として補足的に活用し、校内の定期考査と合わせて、生徒の英語力を伸ばすように指導していきたい。

教 科	情 報
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組みが良好である生徒もいるが、私語の多い生徒や全く取り組む姿勢が見られない生徒も数多く見られる。 実際の取り組み状況と比べ、生徒の自己評価が高く（教師側から見ると評価が甘く）なる傾向がみられる。
今後の取組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度や提出物等、為すべきことをきちんとさせる。また、評価基準を何度も確認して、生徒の取り組みに対する意識を高める。 授業プリント等の充実と活動内容を工夫する。

教 科	商 業
傾向や分析等	<ul style="list-style-type: none"> 授業の準備や授業中の態度など、生徒の自己評価は良好であるが、クラスによっては教材忘れが多い生徒もいた。また、資格取得に向けて一生懸命取り組む生徒が多い一方、授業内容を理解できず、集中できなかったり、やる気を無くしている生徒もいた。
今後の取組み改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得を一つの目標として授業に一生懸命に取り組ませる。 小テストなどの頻度を増やし、内容を理解できていない生徒の把握に努める。 アクティブラーニングを積極的に導入し、生徒同士が学び合う環境作りに努める。

学校評価の年間計画 (案)

	職 員	生徒・保護者	学校関係者評価委員
評価の 内 容	・校務分掌評価 ・学年評価 ・自己評価(授業評価)	・学校評価アンケート (生徒:授業評価も含む)	・外部評価
担 当	学校評価係	学校評価係	教頭
月	業 務 内 容		
4	学校の教育目標・経営方針 の決定	アンケート内容の検討 保護者用中間アンケート配布	学校関係者評価委員の 選定依頼
5	各部・学年等の重点目標 設定	PTA総会時における学校評価の説明 保護者向け中間アンケート回収・集計	
6	アンケート内容の検討		第1回学校関係者評価委員会 (目標確認)
7	各部・学年・授業の中間評価	授業の中間評価アンケート	
8	自己評価(中間評価)		
9	評 価 内 容 の 見 当		
10			アンケート内容の検討
11	学校評価 実施・集計 授業評価 実施	授業の最終評価アンケート	第2回学校関係者評価委員会 (中間評価)
12	各部・学年・授業の最終評価	学校評価アンケート 保護者向け実施・集計	学校評価アンケート
1	自己評価(最終評価)	学校評価アンケート 生徒向け実施・集計	
2	結果報告と改善策の検討	アンケート結果と分析	第3回学校関係者評価委員会 (最終評価)
3	学校評価に関する県への報告	次年度アンケート内容の検討	

メモ用紙にお使い下さい